

霊地 虚空蔵谷と歴史を語る仏様



令和3年3月3日(水)

本日のコース

JR 大住駅→大住車塚古墳→大嘗会田伝承地(大嘗料)→両讃寺(住職お話)
→月読神社→そよかぜ幼稚園→虚空蔵堂・虚空蔵谷→山神石碑→JR 松井山手
集合:JR 大住駅 9時30分 解散:JR 松井山手駅 12時30分(予定)

☆ 参加者の皆様には団体保険をかけております。しかしおおきな事故は適用外となる場合があります。事故が起きないようにガイド担当者は万全の注意をはらっておりますが参加される皆さまも事故のないように自己責任で行動し楽しい一日をお過ごしください。

霊地として自然信仰の対象とされていた虚空蔵谷は雨ごい祈願の地として霊験あらたかだったといわれています。虚空蔵谷から先に進んだ竜王谷には清水の湧き出るところがあり古来から水が尽きることなく清らかな虚空蔵谷川となって月読神社を経て大嘗料を流れていました。

今日は霊地虚空蔵谷から流れる虚空蔵谷川を横に朝廷に献上された農作物を作っていた大嘗会田伝承地(現大嘗料)、車塚古墳、歴史を語る両讃寺の仏様、そして虚空蔵谷を歩きます。

1. 大住車塚古墳

5世紀初め(古墳時代中期)に作られた前方後方墳で「智光寺山(チコンジヤマ)古墳とも呼ばれている。全長66m、前方部は幅18m、高さ1.5m、後方部は一辺の長さ36m、高さ4.5m。古墳の周りには長方形の周濠の存在が考えられ、棺が収められていた主体部は竪穴式石室が粘土槨であったと推測される。1974年に国の史跡に指定された。西側に並ぶ大住南塚古墳も同じ形で大きさも同じで二基並ぶというのは全国でも珍しい例である。

2. 大嘗会田伝承地

奈良時代に大住地域に九州南部の大隅隼人が移り住み、古くから朝廷とのかわりがあった地である。隼人は朝廷の儀式に奉仕し特に大嘗会には風俗舞(隼人舞)を演じていた。天皇が即位後に新しい穀物を備える儀式である大嘗会においても村民が上京し交役を務めていたといわれている。明治の初

めころまで大住の人たちが土地の農作物を献上していたことが古文書に記されている。今に残る大嘗料という地名はその名残である。

大嘗会田には霊地虚空蔵谷から流れる清らかな水が流れていたと思われる。

【参考】

室町時代に書かれた隼人司の長官である中原康富の「康富記」(1455年)に「・・・大住内隼人領大嘗会田という田地1町2反あり・・・」とあり大嘗会のための領地として朝廷に属していた田地があったことが伺える。

3、両讃寺 宗派・山号 浄土宗 發迎山 開山 願故上人

創建は慶長6年(1601年)、万延元年(1860年)に玉誉善住上人により再建。寺伝によると往時領主大住家友はこの地の城山に住み西村の阿弥陀堂、東村の釈迦堂を尊信したが織田信長と戦って滅亡し、両堂とも荒廃した。



その後、橋本甚太夫と刀根源太夫が堂宇を再建し阿弥陀・釈迦2尊を移して安置したという。二つの尊像を讃えたため両讃寺と名つけられた。

両讃寺の本尊は阿弥陀如来、寺名の由来となった釈迦三尊像もまつられている。江戸時代は八幡の念仏寺の末寺だった。

月読神社の神宮寺福養寺の薬師如来像(神護寺の薬師如来などに類例)、四天王像、虚空蔵菩薩像などを引き取った経緯、虚空蔵谷の自然の霊地から流れ出る虚空蔵谷川などの関連から両讃寺・月読神社・虚空蔵堂は深いかかわりがある。

4、月読神社

祭神 月読尊(ツキヨミのミコト)、伊邪那岐尊(イザナギノミコト)、伊邪那美尊(イザナミノミコト)

由来 延喜式内社で大社に位置付けられていた。本神社が位置する大住地区の多くは奈良興福寺の荘園であった。神宮寺として宝生山福養寺が明治の初めまで存在し、奥ノ坊・新坊・中ノ坊・西ノ坊・北ノ坊・北ノ坊の6坊が備わっていたがすべて廃寺となった。明治元年には戦火を避け石清水八幡宮の本宮以下がこの神社に遷座された。

本殿 中世にはたびたび兵乱・兵火を受け社伝の消失と再興を繰り返した歴史がある現在の本殿は東に面する一間社春日造銅版葺きである。

明治26年(1893年)に名古屋の伊藤平左衛門によって設計された。本殿を取り囲む玉垣の正面に鳥居を配置する珍しい構造が見られる。

隼人舞伝承地

九州南部の大隅隼人が7世紀ころに移住し郷土の「隼人舞」を天武の時代に演じており月読にこの舞が伝えられてきた。

隼人舞は「岩戸神楽」とともに日本民俗芸能の2大源流ともいわれ「古事記」や「日本書紀」の海幸彦・山幸彦の神話に起源するとも言われている。現在、隼人舞は地元の中学生たちが古代の衣装を身にまとい、手には剣や鉾などの武具、扇、鈴をもち太鼓や笛に合わせて踊る。毎年10月14日に天津神社そして月読神社で奉納される。

5、雑創の森学園 そよかぜ幼稚園の造形

森の中に突然現れる建物のカラフルな風車に目を奪われる。

この造形こそ、風や水の流れの美を見事に現代彫刻に表現しようとした、世界的造形作家、新宮晋氏の初期の作品である。

『～この地球の呼吸とも言える風や、循環する血液とも言える水のダイナミックで微妙なリズムを、できるだけ素直に捕えて、動きで表そうとしてきた～』
(新宮 晋：ウインドサーカス誕生より)

6、虚空蔵堂 虚空蔵谷川の滝 (竜王谷)

承久3(1221)年、大住家友の建立で、法輪山葛井寺と呼ばれていたが、足利義満の時代に兵火で寺は焼失、お堂だけが残ったと伝えられる。

本尊は知恵と福德にご利益があるといわれる虚空蔵菩薩で、「こくぞうさん」の愛称で親しまれ、毎年4月13日には「十三まいり」で賑わう。

虚空蔵谷川をさかのぼると、二つの滝があり、竜王谷に至る。竜王谷は、雨乞いの舞台として名残をとどめる代表的な遺跡。竜王の杉と清水が湧き出る泉があり、虚空蔵谷川の源である。



7、「山神の石碑」について

この「山」は甘南備山をさし、古い時代から甘南備山を遥拝したところとされています。虚空蔵谷川は甘南備山に源を発していることから、ここから甘南備山に神迎に出向いたところの一つだったようです。

JR 松井山手発時刻表



【京橋方面】

12時 2分 17分 32分 47分 (すべて快・塚)

13時 2分 17分 32分 47分 (同上) .

【木津方面】

12時 13分 (普・同) 28分 (普・木) 43分 (普・同) 58分 (普・木)

13時 13分 (普・同) 28分 (普・木) 43分 (普・同) 58分 (普・木)

註 区：区間快速、快：快速、普：普通

塚：塚口、西：西宮、宝：宝塚 新：新三田、篠：篠山口

註 快：快速、普：普通

塚：塚口、 木：木津、 同：同志社前

【次回予告】

3月24日(水) 早春のけいはんな三国越えウォーク 12k (健脚向き)

JR 三山木 9時15分集合 JR 河内磐船解散 (16時ころ)

詳しくは JR 西日本ふれあいハイクだよりをご覧ください。

お問い合わせ・予約

京田辺市観光協会 京田辺市観光ボランティアガイド協会

〒610-0334 京田辺市田辺中央4-3-3 CIKビル

TEL:0774-68-2810 FAX:0774-68-2817